

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社エクシオホールディングス 上場取引所 東
コード番号 362A URL <https://www.exeo-holdings.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 佐伯 猛
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 佐藤 道子 (TEL) 050 (3819) 0088
配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期中間期の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,578	—	60	—	71	—	69	—
2025年3月期中間期	632	—	19	—	25	—	15	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 69百万円（－％） 2025年3月期中間期 15百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	331.59	316.60
2025年3月期中間期	73.62	—

(注) 当社は2024年7月1日に株式会社エクシオジャパンを完全子会社とする単独株式移転により、持株会社として設立されました。2025年3月期中間連結財務諸表は変則的な決算となっており、会計期間が3カ月間であるため、前期実績及び対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,998	1,086	54.4
2025年3月期	1,870	1,016	54.4

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 1,086百万円 2025年3月期 1,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	0.00	0.00	0.00
2026年3月期	0.00		
2026年3月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,231	—	242	—	366	—	190	—	908.24

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2024年7月1日に株式会社エクシオジャパンを完全子会社とする単独株式移転により、持株会社として設立されました。そのため、2025年3月期は2024年7月1日から2025年3月31日の変則的な決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更
新規 ー社 (社名) ー : 無
、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
- ④ 修正再表示 (中間期) : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	210,000株	2025年3月期	210,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	ー株	2025年3月期	ー株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	210,000株	2025年3月期中間期	ー株

(注) 当社は2024年7月1日に株式会社エクシオジャパンを完全子会社とする単独株式移転により、持株会社として設立されました。そのため、2025年3月期中間期期中平均株式数 (中間期) については記載しておりません。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(表示方法の変更の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

当社は、2024年7月1日に単独株式移転により株式会社エクシオジャパンの完全親会社として設立されましたので、前年中間期との対比については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、引き続き内需やインバウンド需要の回復が見られる一方で、地政学的リスクの長期化に伴う原材料価格の高止まりや、原油価格の変動による物流コストの上昇、人手不足に起因する人件費の増加など、企業活動や個人消費に対する下押し圧力が継続しております。また、アメリカをはじめとする主要国の金融政策の動向や為替の変動など、先行き不透明な経済環境が続いております。

当社グループが属する子育て支援事業を取り巻く環境においては、2024年度より本格始動した「こども・子育て支援加速化プラン」に基づき、保育の受け皿拡充や保育士の処遇改善、ICT導入による業務効率化など、質・量両面での支援強化が進められております。共働き世帯の増加に伴い、短時間保育や一時預かりといった柔軟な保育サービスへのニーズが引き続き高まっております。

保育事業におきましては、2025年4月に開園した小規模保育施設の運営を順調に開始し、地域のニーズに即した保育サービスの提供を進めております。また、保育士の処遇改善や研修制度の充実を通じて、サービスの質向上に取り組んでまいりました。

飲食事業におきましては、外食需要の回復基調を捉え、営業時間延長、集客施策やプロモーション活動を強化いたしました。一方で、原材料価格の高騰が継続しており、価格改定やメニュー構成の見直しを行うことで収益性の確保に努めてまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は1,578,597千円、営業利益は60,090千円、経常利益は71,799千円、親会社株主に帰属する中間純利益は69,635千円となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(保育事業)

保育事業におきましては、当中間連結会計期間において新規に開設した施設が5施設あり、各施設において保育の質向上及び効率的な施設運営に注力いたしました。

その結果、当中間連結会計期間における保育園の数は認可保育所が1施設、小規模保育所が49施設、企業主導型保育所が1施設の合計51施設となり保育事業の売上高は1,376,586千円、セグメント利益は215,674千円となりました。

(飲食事業)

飲食事業におきましては、幅広くお客様にご利用いただくための新メニュー開発に注力し、お客様に楽しく元氣になっていただけるカフェを目指し、さらなるサービス向上に努めております。当中間連結会計期間においては、ディナー営業開始に合わせ、カイラー押しメニューをお得にお召し上がりいただけるディナーセットの提供を始めました。その結果、飲食事業の売上高は174,346千円、セグメント利益は5,465千円となりました。

(その他)

その他の事業につきましては、売上高は27,664千円、セグメント損失は9,920千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の財政状態については、総資産は1,998,041千円となり、負債は911,949千円となりました。また、純資産は1,086,091千円となりました。

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて127,870千円増加し、1,998,041千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べて163,561千円増加し、1,027,126千円となりました。主な要因は現金預金が268,720千円増加し、売掛金が77,585千円、貯蔵品が22,911千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて35,690千円減少し、970,914千円となりました。主な要因は新規保育園開園による固定資産圧縮損の計上により、有形固定資産が69,885千円減少し、繰延税金資産の増加により投資その他の資産が増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて58,235千円増加し、911,949千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べて59,042千円増加し、524,101千円となりました。主な要因は、賞与引当金が126,993千円、前受金及び契約負債が15,721千円増加し、未払金が63,416千円、未払法人税等が26,262千円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に

比べて807千円減少し、387,848千円となりました。主な要因は、長期借入金が11,084千円増加し、繰延税金負債が12,968千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて69,635千円増加し、1,086,091千円となりました。主な要因は、中間純利益の計上により、利益剰余金が69,635千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ268,720千円増加し、771,056千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益86,874千円、売上債権等の減少73,174千円、棚卸資産の減少22,758千円などの収入がありましたが、未払金の減少25,954千円、法人税等の支払額85,475千円などの支出がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは345,348千円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出80,995千円、無形固定資産の取得による支出7,245千円などの支出がありました。この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは87,712千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の収入が12,084千円、長期借入金の返済による支出1,000千円がありました。この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは11,084千円の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年6月6日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	642,381	911,101
売掛金	145,546	67,960
未収入金	8,956	1,626
商品	2,899	3,105
貯蔵品	27,293	4,381
その他	36,488	38,951
流動資産合計	863,565	1,027,126
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	727,668	624,590
構築物(純額)	11,469	10,837
工具、器具及び備品(純額)	21,500	13,904
土地	59,488	98,488
その他	-	2,420
有形固定資産合計	820,127	750,241
無形固定資産		
ソフトウェア	11,507	15,741
その他	693	2,099
無形固定資産合計	12,201	17,840
投資その他の資産		
敷金及び保証金	171,907	172,392
繰延税金資産	-	29,004
貸倒引当金	△3,655	△3,084
その他	6,024	4,519
投資その他の資産合計	174,276	202,832
固定資産合計	1,006,605	970,914
資産合計	1,870,170	1,998,041

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,907	12,885
未払金	267,313	203,896
未払費用	35,167	43,394
未払法人税等	99,136	72,873
前受金及び契約負債	24,662	40,384
賞与引当金	-	126,993
その他	29,871	23,673
流動負債合計	465,058	524,101
固定負債		
長期借入金	16,178	27,263
資産除去債務	356,849	357,925
長期預り金	2,660	2,660
繰延税金負債	12,968	-
固定負債合計	388,655	387,848
負債合計	853,714	911,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
利益剰余金	966,456	1,036,091
株主資本合計	1,016,456	1,086,091
純資産合計	1,016,456	1,086,091
負債純資産合計	1,870,170	1,998,041

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	632,985	1,578,597
売上原価	543,569	1,367,378
売上総利益	89,415	211,219
販売費及び一般管理費	70,223	151,128
営業利益	19,192	60,090
営業外収益		
受取利息	37	596
補助金収入	-	400
債務免除益	2,417	-
受取家賃	3,358	9,321
保険解約返戻金	-	838
その他	763	646
営業外収益合計	6,577	11,802
営業外費用		
為替差損	20	18
その他	44	76
営業外費用合計	64	94
経常利益	25,706	71,799
特別利益		
開設準備補助金	-	88,259
特別利益合計	-	88,259
特別損失		
固定資産圧縮損	-	73,183
特別損失合計	-	73,183
税金等調整前中間純利益	25,706	86,874
法人税、住民税及び事業税	10,243	59,212
法人税等調整額	-	△41,972
法人税等合計	10,243	17,239
中間純利益	15,462	69,635
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	15,462	69,635

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 7 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益	15,462	69,635
中間包括利益	15,462	69,635
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	15,462	69,635
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	25,706	86,874
減価償却費	19,385	42,926
債務免除益	△2,417	-
補助金収入	-	△88,659
固定資産圧縮損	-	73,183
貸倒引当金の増減額(△は減少)	123	△570
賞与引当金の増減額(△は減少)	38,591	126,993
受取利息	△37	△596
為替差損	0	0
受取家賃	△3,358	△9,321
売掛金の増減額(△は増加)	△9,082	73,174
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,779	22,758
仕入債務の増減額(△は減少)	2,852	3,978
未払金の増減額(△は減少)	△9,409	△25,954
未払費用の増減額(△は減少)	1,344	8,226
前受金及び契約負債の増減額(△は減少)	△24,242	15,721
未払消費税の増減額(△は減少)	4,754	△2,817
その他の資産の増減額(△は増加)	6,512	9,769
その他の負債の増減額(△は減少)	29,803	△3,380
その他	△10,999	△60
小計	72,306	332,246
利息の受取額	37	596
家賃の受取額	3,358	9,321
補助金の受取額	-	88,659
法人税等の支払額(△は支払)	4,269	△85,475
営業活動によるキャッシュ・フロー	79,972	345,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△80,995
無形固定資産の取得による支出	△1,743	△7,245
敷金及び保証金の返還による収入	66	382
敷金及び保証金の預入による支出	△4,413	△854
その他	1,320	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,770	△87,712

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 7 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金純増減額	△50,000	-
長期借入れによる収入	2,849	12,084
長期借入金の返済による支出	△34	△1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,184	11,084
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	28,016	268,720
現金及び現金同等物の期首残高	498,089	502,336
現金及び現金同等物の中間期末残高	526,106	771,056

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書関係)

損益計算書の一貫性および明瞭性を高める観点から表示方法の見直しを行い、前連結会計年度において区分掲記していた営業外収益の「補助金収入」については、当事業年度より特別利益の「開設準備補助金」として区分掲記し表示しております。なお、この表示方法の変更による、前連結中間会計期間の財務諸表の組替えによる影響はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	保育事業	飲食事業	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	544,352	77,825	622,177	10,808	632,985	-	632,985
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	544,352	77,825	622,177	10,808	632,985	-	632,985
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	544,352	77,825	622,177	10,808	632,985	-	632,985
セグメント利益又は 損失(△)	98,535	2,395	100,930	△11,514	89,415	△ 70,223	19,192

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICT事業等であります。

2. 調整額は、全社部門等の金額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	保育事業	飲食事業	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	1,376,586	174,346	1,550,932	27,664	1,578,597	-	1,578,597
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,376,586	174,346	1,550,932	27,664	1,578,597	-	1,578,597
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,376,586	174,346	1,550,932	27,664	1,578,597	-	1,578,597
セグメント利益又は 損失(△)	215,674	5,465	221,139	△9,920	211,219	△151,128	60,090

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICT事業等であります。

2. 調整額は、全社部門等の金額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。